

まちネットニュース

社会教育の推進

まちづくりの推進

環境保全の推進

56号

URL . <http://www.machi-net.org/> に同時掲載しています。

発行責任者 NPO法人・まちづくりネットワーク

小池 貞三郎

〒306-0041 古河市鴻巣758番地 Tel・Fax 0280 47 0033

当法人は、三桜工業株式会社の支援により設立されましたNPO認証法人です。



環境保全の推進活動

廃車のリサイクル、世界にさきがけて本格化 農家と動物園の連携リサイクルも登場！

廃車からエンジンや鋼板、主要部品を取り除いた後の残部を粉砕した廃棄物・・・シュレッダーダストは、ユーザーから徴収したリサイクル費用で、リサイクルを引き受ける鉄鋼メーカーなどに支払われて実施されます。今回はこのリサイクルをみることにしました。

年70万トンの廃車シュレッダーダストを大別して2グループで・・・来年1月から自動車メーカーに再資源化が義務づけられたことを機に、自動車業界は2グループに大別してリサイクル網を構築し、大手鉄鋼会社などがそのリサイクルにあたる予定で熱源などに利用できる処理施設を建設する段階にあるといわれています。

その内容は、サーマル・マテリアル・ケミカルリサイクルに及び世界初ともいわれ・・・エンジンや鋼板、主要部品が除かれた後のシュレッダーダストは、ガラスや金属、繊維などの複雑な混合物となっており、欧米でも再利用はみられないといわれています。

今般の計画では、リサイクル内容が、本紙54号で取り上げたサーマルリサイクル(熱回収)・マテリアルリサイクル(素材再利用)・ケミカルリサイクル(元のモノにする完全リサイクル)に及び広範囲な内容であり、世界初といわれています。

例えば、鉄鋼会社は高炉技術を用いて、高温で熔解して「元の鉄」を回収、残部を道路の舗装材料に、熔解時に発生する可燃性ガスを電力源や熱源に、それぞれ利用するといわれています。

農家と動物園の連携では、規格外の野菜を動物の体を通して、飼料リサイクルへ・・・朝日新聞2月16日付の夕刊には、こんな内容の記事が掲載されていたのをご存じの方も多いことでしょう。・・・千葉県内の生産農家で作る2組合と東京・上野動物園が話し合い、規格外となった野菜を動物園に提供。受けた動物園はその野菜を食べたゴリラやクマのフンを農家に渡し、堆肥化して利用するリサイクルへ。この4月から本格実施を予定。まさに有効利用法の一つ。

同じ循環型でも、気になる第二世代遺伝子の利用

例えばホウレン草の遺伝子を豚の遺伝子に組み込み、脂肪酸が増えない食用肉にする家畜を飼育するという二世帯遺伝子の利用については気になるところ。理論的に無害が証明されねば発売禁止の予防概念先行型の日・欧。問題が発生しない間は科学的に危険性が証明されない限りはOKの現実概念先行型の米国。日本式の生活には予防概念先行型の日・欧流に一応の安心感が・・・

写真で綴る03年度の活動報告



【菅谷町長】

<2月> 総和町長にインタビュー

総和町の介護・保健・福祉の総合化政策に基づく「まちづくり」について菅谷町長に伺いました。



【産業祭に参加の町民の皆さん】

<11月> 北川辺町産業祭に参加

インターネットやパソコンの相談コーナーを設けて、対応しました。



【インターネット相談コーナー】



【セレモニーで大正琴演奏のボランティア】



【来賓挨拶の落合助役】



【さざんか祭り・三桜工業本社敷地内】



<2月> 香りの講演会 古河市・香り友の会・ まちネット共催行事

古河市福祉の森会館で香りの健康効果についての講演会を開催。

【講師の渡辺さん】

まちネットは▶講演会の企画や司会進行で参加。



【古河市香り友の会の皆さん】



<10・11月> さざんか祭りと雪華祭り



【雪華まつり古河駅東口】

インターネットやパソコン相談コーナーを設けて参加。



【中村先生に感謝状】

<10月> 古河総合公園の国際賞受賞 の記念式典行われる

ユネスコ「メリナ・メルクーリ国際賞」受賞の記念式典が行われ、同公園の計画・設計に携われた東工大の中村先生に古河市長より感謝状が贈られました



▲【福祉の森会館・緑の広場で】

<6月> 古河市ラベンダーまつりに参加



【祝杯を挙げる参加者】



▲【防犯サポーターの皆さん】

<5・11月> 古河警察署生活安全課広報を本紙に掲載安全なまちづくり活動広報です。



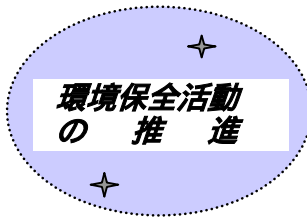
【リースづくりコーナーで】

福祉の森会館・緑の広場で市民団体とボランティア参加。

近隣市町の市民の皆様をはじめ、関係自治体・市民団体・公的機関・地域企業の皆様のご協力、そして、<まちづくりネットワーク>に基盤支援の提供をされています三桜工業株式会社の皆様のおかげをもちまして、今年度も諸活動ができましたことをお礼申し上げます。



【参加者の全員集合】



【まちネットに協力参加された方々】

▲ <5月> 渡良瀬河川敷クリーン作戦に参加

国土交通省や近隣自治体によるクリーン作戦にまちネットに協力された58名の方々が参加。



【中村部長(中) 藤白課長(左)倉持主幹の皆さん】

▲ <8月> 茨城県総和町の環境行政を聴く

総和町の学校版ISOをはじめ、同町の環境行政を取材。まちネットニュースに掲載。

<年間> まちネットニュースによる環境保全広報活動
 同41号・特定化学物質の排出量・管理促進法に基づく公表制
 同42号・環境税、石油石炭税、自然環境の帰属価額の解説
 同43号・夏場の節電対策、渡良瀬河川敷クリーン作戦参加広報
 同46号・国土交通省の低公害車普及目標とCO₂削減実績
 同47号・総和町環境行政に関するインタビュー
 同50号・人と地球の加齢解説
 同51号・エコデザイン解説
 同52号・新エネルギー利用義務に伴う取引の新段階解説
 同53号・石油文明から水素文明への鼓動解説
 同54号・完全リサイクル技術の動向解説



【中学生のパソコン学習】

▲ <年間> 学習関係協同事業

古河市との協同事業・土曜教室
 企業との協同事業・パソコン教室常設

- ・市内3中学校で同時実施
- ・(株)サンオーコミュニケーションズと協同事業としてパソコン教室常設



▲ <11月> 小学校文化祭でパソコン教室
 古河第一小学校の文化祭・出城まつり・・・に毎年参加。インターネットで資料の検索やゲームで楽しく学習



【学習資料検索やゲームを学ぶ小学生】

<年間> まちネットニュースによる社会教育広報活動
 同42号・03年度古河市土曜教室開講、コミュニティカレッジ広報
 同44号・量子情報技術・介護保険課題解説
 同45号・電子荷札によるユビキタス解説
 同46号・古河市教育長にインタビュー
 同48号・ナノテクノロジー解説
 同49号・厚生労働省・高齢者介護研究会報告概要の解説
 同51号・小学校文化祭参加記事掲載
 同53号より市民紙上セミナー開講



▲ 【日本古代史セミナー】

<年間> コミュニティカレッジ

年金・財形・日本古代史など行っています。

今の動き

あなたの職場や学校、友人間、家庭が
コミュニケーション貧乏になっていませんか

NHKの「今日の問題」というテレビ番組で、こんな問題を取り上げていました。舞台は東京・渋谷の雑踏の中。オレンジ色に髪の毛を染めた一人の青年が、〈聴き屋〉(無料)と書いた小さなボール紙を路上に置いて、小さな箱に腰掛けている。この青年は、訪れる若者の話を熱心に聴いて、明らかに間違いである場合を除き、具体的なアドバイスは特にしなないようにしている。ところが数日たつと、訪れた若者が悩みがとれて、明るい表情でまたやってくる。一日の仕事を終えて、夜、無料の〈聴き屋〉になる青年を訪れた若者の数は2年間で、2400人という。今度は東京以外の所でもやるという。

番組に出演していた、ある著名なコラムニストは、この青年の対応が上手であること、今の組織などの環境が一種の「コミュニケーション貧乏」になっていることが伺えると指摘。現代はいろいろの組織が「効率一辺倒」になっていて、「簡潔に・早く結論を！」と若者に迫り、自分の考えや悩みを表現できる場がない。そのことが、かえって組織の多様化や効率を阻害しているといわれます。不幸にもノイローゼになってしまった人のヘルスケアにあたることよりも、普段から組織に〈聴き屋〉機能を備えて置くことの方が有効では?と問いかけているようです。

ご存じですかコーナー

マルチキャスト通信
(multicast communication)



同時に多方面に送信できる通信システムの総称。インターネットは端末と端末、端末とデータベースといった1対1の利用方法を主に想定して作られていますが、ネットワークが巨大化すると共に、情報を同時に各所に送る利用方法が多くなってきました。そこで、通信手続きの中に

マルチキャスト通信のコードを設定して、複数の送信相手に送る経路の分岐点で情報を複写して流す技術が開発されました。それでも基本的には順番に情報を送るために、送信時間が遅れる端末があります。そこで衛星を使ったマルチキャスト通信などが開発され、その対応にあたっています。

市民紙上セミナー

暮らしと金融を考える(2)

投資信託の分類と運用スタイル

講師・高橋 昭夫 先生
日本ファイナンシャルプランナー協会正会員
栃木県金融広報委員会推進委員

投資信託の分類

- 1) 株式投資信託
株式を組み入れることが可能な投資信託。実際は1株も株式を組み入れなくても、株式を組み入れる事ができる可能なファンドは株式投資信託に分類される。
- 2) 公社債投資信託
国債など公社債などを中心に運用し株式にはまったく投資しない投資信託です。
- 3) 単位型(ユニット型)
ファンド設定後は追加設定(追加購入)ができないタイプ。
- 4) 追加型(オープン型)
ファンド設定後も追加設定(追加購入)ができるタイプ。

投資信託の運用スタイル

- 1) パッシブ運用とアクティブ運用
日経平均株価や東証株価指数などに連動した値動きを目指すのがパッシブ運用でインデックスファンドが代表的。市場平均を上回る投資収益の確保を目指して積極的に銘柄選択や売買を図るのがアクティブ運用といえます。
- 2) バリューストック型とグロース(成長)型
バリューストック型とは企業の実力に比べ株価が割安と判断される銘柄を選択して投資していく方法。
グロース型とは、今後高い成長が期待できる銘柄を選択して投資していく方法をいいます。